

# 男女共同参画ひろば いっぱい いっぱい

自分らしく輝ける社会へ



市では「富士見市男女共同参画推進条例」を制定し、性別にかかわらず、個人の能力が尊重される社会をめざして“いっぱい いっぱい”取組みを進めています。

問合せ／人権・市民相談課 ☎273

## 男女共同参画キーワード

### 多様な性があるということ

わたしたちが生きている社会には、多様な考え方、多様な家族のカタチ、多様な人生、そして多様な性もあります。誰もがありのままに生きていける暮らしやすい社会になるよう価値観や考え方の広がりを持ち、さまざまな違いを認め合ひましょう。



### LGBTってなに？

性には、「こころの性」「からだの性」「社会的な性」「性的指向」などさまざまにあり、性のあり方(セクシュアリティ)は人それぞれ異なります。例えば、同性が好きの人、両性愛者の人、自分の性に違和感を覚える人などいます。このような社会的に少数派の立場の人を、性的マイノリティといいます。最近では、頭文字をとって「LGBT」とも呼ばれており、その割合は、7.6%、およそ13人に1人とされています。(電通「LGBT調査2015」より)



LGBTをサポートする象徴の6色の虹色

頭文字		意味
L	レズビアン	女性の同性愛者
G	ゲイ	男性の同性愛者
B	バイセクシュアル	両性愛者
T	トランスジェンダー	生まれた時の法的・社会的性別とは異なる性別で生きる人。生きたいと望む人。

### 精神的なストレス

社会では、性別を男性と女性、2つの分類として、異性を性愛の対象とすることが当たり前という意識が強く、性的マイノリティへの理解が十分とはいえないのが現状です。

性的マイノリティの人は自らのセクシュアリティを人に話せず、周囲の人に合わせて生活しています。また、自分の性に違和感を覚える人は、24時間365日、脱げない着ぐるみ生活を送り、精神的なストレスを抱えています。

このようなことから、自己肯定観が低くなったり、将来への不安から心身の健康に影響を及ぼし、自殺を考へたり不登校になることもあります。

### 私たちにできること

性的マイノリティは社会の中で異質なものととらえられており、笑いの対象となることがあります。例えば、ホモ、レズ、オカマ、オナベ、おとこおんななどは、差別表現であり傷つく言葉です。まずは、職場や学校など、周りにいるかもしれないという想像力をもって行動し、言葉に気を付けましょう。そして、男らしさ、女らしさよりも「その人らしさ」を尊重しましょう。  
※ホモセクシュアルをホモ、レズビアンをレズと省略しなければ差別用語にはなりません。

### 相談してみようかなと思える環境に

性的マイノリティの人がありのままに生きられる社会とはどういうものでしょうか。

それは、多くの人が知識を持つことです。知識があると想像することや配慮することができるため、性的マイノリティの人が「相談してみようかな」と思える環境が自然に作られ、暮らしやすい社会=人の幸せにつながるものです。

もし、性的マイノリティであると告白されたら、「話してくれてありがとう」と言いましょ。また、そのことを他人に話さないようにし、困っていることやしてほしいことを聴いてみましょう。そして、思いやりをもって心地よい人間関係を築いていきましょう。

### 男女共同参画セミナーのお知らせ

ネット依存、いじめ、安易な書き込みによるめごと、リベンジポルノなどインターネットやSNSに潜むリスクを男女共同参画の視点から学びます。親子、家族、学生同士などで気軽にご参加ください。

とき／2月21日(日)午後2時～4時(1時30分開場)

場所／鶴瀬西交流センター

定員／50人(無料、申込順)

※手話通訳、保育あり(1歳～未就学児、要予約)

講師／渡辺真由子氏(メディアジャーナリスト)

主催／市、富士見市男女共同参画推進会議

申込み／2月1日(月)から平日午前9時～午後5時にFAXまたは電話で

問合せ／人権・市民相談課 ☎272

FAX 049-254-2000

